

森の日記 2023年1月15日から3月19日まで

by 迷鳥キツツキ

1月15日は今年最初の鳥類観察会がありました。昨日雪が降ったので積雪はいちだんと深くなっていました。私は和式カンジキを履いて参加し、新雪を踏みたかったので、最初に出発する3人の班に入れてもらいました。年末の鳥類調査の際にはたくさんの鳥を見ることができましたが、この日は非常に少なく、アカゲラ、ヒヨドリ、カラ類、ツグミなどとエゾリスを少数見かけただけでした。私たちの次に出発した班の人たちはキクイタダキ、コゲラ、キバシリやカケスなども見ることができたそうです。鳥は少なかったですが、美しい景色を見ることができて良かったです。



左：朝の集合時。

右：第2班、調査中。

1月22日は、年末年始の大雪と強風で折れたチョウセンゴヨウ、枯れていたブンゲンストウヒの伐採と片付けを行いました。今朝の自宅での気温は8時に-16°Cで寒い朝でした。比較的少人数での活動になりましたが、人数の割にはよく頑張ったと思います。



左：折れたチョウセンゴヨウ。

右：枝葉の片付け。

2月19日はほぼ1ヶ月ぶりに間伐をしました。曇天で気温もあまり下がらず朝9時頃のエゾリスの会の集合地点での気温は-2°Cでした。19日は第二柏林台川の谷付近のチョウセンゴヨウを2本伐採しました。

40年ほど前に植林されたのち十分大きく生育し、樹の周辺の日照や谷の自然林からの広葉樹の拡散を阻害していました。小学生から72歳までたくさんのメンバーが集まり、伐採と片付け作業を楽しみました。



左：伐採した木の片付け。

右：ソリで荷物運び。

3月19日は1ヶ月ぶりに里山Pの間伐作業が行われました。活動地点の入口付近では雪解けが進み、地面が出ていました。ベンチやテーブルを置いた地点では、テーブルの表面が雪の中から現れていました。朝9時少し前の気温は3°Cでした。森の中にはまだ雪がたくさん残っていたので、皆スノーシューやカンジキを履いて作業しました。朝早いうちは雪の表面が凍結していたので歩きやすかったです。伐採予定地点に移動する途中、林床にエゾタヌキの「ため糞」が落ちていました。意外に多量なものでした。参加者の皆さんは興味深く観察していました。間伐は大きなチョウセンゴヨウを3本と中径のニオイヒバを1本伐採しました。ニオイヒバは小学生会員がぜひ自分で伐採したいというので、熟練会員が指導しつつ手ノコで伐採してもらいました。良い経験になったことと思います。



左：タヌキのため糞を観察。右：小学生会員が手ノコで伐採。

私の個人ホームページ

<http://timetraveler.html.xdomain.jp>

でも活動の様子を報告しています。スタート画面の「エゾリスの会」という青いボタンを押してください。